

2022年9月26日

各支部執行部 御中
組 合 員 各 位

日清製粉労働組合
中 央 執 行 部

第 69期 第2回中央執行委員会 報告



日時 : 2022年9月14日(水)11:00 から9月16日(金)17:00まで
場所 : 組合本部事務所(山下、赤木、松本、島津、佐々木、松尾、荒井、武井、岡本)

<第2回中央執行委員会 議題>

[討議事項]

1. 「10本の活動の柱」に関する取り組み検討
2. 今後の本部体制に関する検討
3. 今後の会議開催方法に関する検討
4. 支部長・書記長会議の内容検討
5. 11月労使協議会の取扱いテーマ・質疑案検討
6. その他

[報告事項]

1. フード連合関連
2. その他

[討議事項]

1 「10本の活動の柱」に関する取り組み検討

今期取り組む「10本の活動の柱」について、以下の通り議論した。

(1) 活動の柱① 「多様な価値観を踏まえた総合的な労働条件の改善」

2023 春闘対策

組合員一人ひとりが現場で取り組んできた「頑張り・創意工夫」や、具体的な「業績貢献」「施策貢献」について、第69期も年間2回(10月及び2月)に分けて集約することとしたい。追って各支部に依頼する予定なので、対応をお願いしたい。

支部には2回の集約で手間をかけていることは認識しているが、この2回集約を実施すること

で春闘時の「声」の質・量ともに非常に高くなり、交渉団としても会社からの反応が変わってきた実感があり、引き続き協力をお願いしたい。

総合労働条件の改善

2022 春闘で行った「諸要求」に関しては具体的な成果の獲得には至らず、このことは中央執行部として大きな反省点と捉えている。今後は諸要求という形にこだわらず、労使協議会等の中でより柔軟に話し合いを設けていく方針とした。労使協議等で会社と議論するテーマについては引き続き検討を続けることになる。9月20日発信の通り、全組合員を対象とした総合労働条件に関するアンケートを実施し、広く意見を募集する予定なので協力をお願いしたい。

(2) 活動の柱② 「所定外労働時間の実態記録の定着」

①所定外労働時間のデータの分析及びヒアリングによる実態把握

第 65 期から労働時間の「過少申告ゼロ」を目標として掲げ、アンケートや月次ヒアリングを実施してきた。今期は月次のヒアリングを終了し、アンケート結果をもとに随時必要に応じてヒアリングの実施を行う方針とする。ヒアリングの結果、必要に応じて事業場とも協議の場などで問題提起していただきながら、過少申告ゼロを目指していくことに変わりはない。対応に困る場合には本部にいつでも相談願いたい。

(3) 活動の柱④ 「努力と成果が報われる人事制度の運用チェック」

現状の人事制度に関して、制度内容と実運用の乖離や課題について議論した。これを基に、継続的な実態把握、会社への課題意識の提言に向けて、2023年 1 月に実施予定の組合員向けアンケートの調査票を作成していく。

(4) 活動の柱⑤ 「こころとからだの健康サポート」

安全衛生分科 A・B 委員会

議題について各事業場の安全衛生委員会で落とし込み改善に繋げるため、68期は事業場の安全衛生委員会出席者を委員に選出することとした。今期からは昨期作成した見直し案のフローに沿って取り組みを実施していく。

(5) 活動の柱⑦ 「合理化3原則に基づいた労働生産性の向上」

労働組合として生産性向上に取り組む背景・意義・目的を整理し、生産性向上に向けた職場毎・個人毎の取組みの事前集約について議論した。昨年度と同様に、次回の「頑張りの声」の意見集約時(2022年 10月)にあわせて、組合員の「業務改善」について意見集約することとしたい。

(6) 活動の柱⑨ 「地域のボランティアをはじめとした社会貢献活動の推進」

先期まで本部主体でフードバンク活動を行ったが、今期以降は本部主体の首都圏地域でのフードバンク活動は行わず(フードバンクは本来地域密着型の取り組みであるため。本部としては、フードバンクに代わる社会貢献の取り組みを検討する)、支部単位で行っていただきたい。

各地域でフードバンク活動を行っている団体を紹介するなどのフォローは本部として引き続き行う。また、フードバンク活動以外の支部独自の取り組みについても、支部訪問等の機会に確認し、横展開を図っていききたい。

(7) ビジョン全体に関する取り組み

「2025 Vision」の達成に向けた取り組みとして、専門部ごとの課題を以下の通り確認した。それぞれの課題に関しては、中執報告や諸会議を通じて本部としての考え方を示すとともに、支部訪問などで支部との意見交換を行いながら、取組みを進めていくこととしたい。

【支部活動運営部】：ナイスアクション大賞 for Vision

【広報部】：「見える化」「人材交流・人材育成」「調査関係の活用促進」「新たな社会貢献活動」

2 今後の本部体制に関する検討

先期まで「ヒト」「モノ」「カネ」について整備を進めてきた。「モノ」に関しては IT 環境の整備として組合への NI ネット導入や支部への NI ネット PC 貸与、「カネ」に関しては組合費の一本化により財政の健全化や平等性を進めた。今期からは「ヒト」に関して本部体制の見直しの検討を進めていきたい。現状の本部体制についての課題は以下のように捉えている。

- ① 非専従者の業務・組合活動両立が難しい
- ② 専従者のリソース不足による社外情報収集・立案検討スピードの限界
- ③ 本部中執のなり手不足（多様なライフステージの変化を吸収できない）
- ④ 本部スケジュールの硬直性

以上の観点から、将来的には本部体制を「専従者 5 名」体制を目指していきたい。現状が「専従者 3 名・非専従者 6 名」であることから、段階的に進めていきたいと考えている。その第 1 ステップとして来期（70 期）の本部体制を「専従者 4 名・非専従者 4 名」とし、組織運営に支障がないか確認を行いたい。また、非専従中執がいることのメリット（=いなくなることのデメリット）や、費用面、選出時の原籍会社・職種のバランスといった課題についても、支部訪問や会議体を通じて支部と意見交換を行い、検討を進めていく。

3 今後の会議開催方法に関する検討

NI ネット導入以降、コロナ対応として各種会議を WEB 開催で行ってきた。今後の会議の開催方法は感染状況や会社の方針に基づき慎重に判断していくが、すべての会議体を集合開催に戻す必要はないと考えている。本部で WEB 開催と集合開催のメリット・デメリットや各会議の目的に照らし合わせて開催方法を検討し、アフターコロナに向けて整理を行っていく。現在考えているそれぞれの開催方法のメリットは以下の通りである。

集合開催

- ① 参加者の反応を確認しながら進行が行える

- ② 発言がしやすく、意見が集まりやすい
- ③ 参加者同士でコミュニケーションが取れる
- ④ 隙間時間に困りごとの相談が可能

WEB 開催

- ① 参加場所の制限が少ない
- ② 移動時間が発生せず、交通費もかからない
- ③ 日程、時間の調整が行いやすい
- ④ 感染症のリスクが抑えられる

これらを踏まえた会議体の開催方法に関する本部の基本的な考えを以下に示す。

支部訪問	集合	本部と支部のコミュニケーションが目的の一つであり、対面で実施する
支部長・書記長会議	集合	期初に開催するため、活動内容の共有だけでなく、顔合わせやネットワーク作りの場として対面で実施する
支部代表者会議	定期:集合 臨時:WEB	定期:意見交換を行う場であるため、集合が望ましい 臨時:本部からの情報共有のみなので WEB で実施する
春闘前段オルグ	集合	春闘に向けて、組合員の参画意識を高めることが目的。また、要求に対する組合員の反応を確認することや、新入組合員にとっても春闘の重要性を伝えるために対面で実施する 動画での配信は併用する
臨時大会	適宜判断	臨時大会についてはそれまでの議論の進行度合いや開催時期によって判断する
定期大会オルグ	適宜判断	来期の活動方針を組合員一人ひとりに伝えることを目的として立ち上げようとしていたが、コロナ禍でまだ開催実績がない。元々対面を予定していたが、多くの組合員に伝える方法として必ずしも対面に拘る必要はなく、WEB 開催や動画配信での周知も考えられる。各支部のニーズに合わせて検討する
定期大会	集合	1年間の活動内容の振り返り及び次の1年間の活動内容について審議する場であり、集合にて開催する

最終的な判断は支部訪問や会議体を通じて支部と意見交換を行い、検討していく。

4 支部長・書記長会議の内容検討

10月14日に実施する支部長・書記長会議について、本年は集合開催となる。外部講義も含め、会議での本部からの説明内容、及び討議テーマについて議論した。

5 11月労使協議会の取り扱いテーマ・質疑案検討

11月各社労協では、諸要求(総合的な労働条件)に関する労協質疑等を行う予定である。労協質疑の中執案は、支部訪問での各支部の意見も踏まえ、10月中旬に発信する予定である。そのうえで、組合としての質疑を決定していく。

[報告事項]

I フード連合関連

(1) フード連合 第21回定期大会

日時:9月5日(月) 方法: 集合・WEB 会議併用(ZOOM)

フード連合は2002年11月に結成され、現在(2022年7月時点)では279単組、109,493名が加盟する組織となっている。今期は2年制の運動方針の2期目となる。昨年に引き続き①食品関連労働者の総結集、②組織力の向上・連帯の強化、③総合的な生活改善、雇用・労働環境の整備、④産業政策の確立、⑤多様性の推進、及び社会性を持った労働運動の実現に取り組むこととしている。大会では「2022春季生活闘争のまとめ(案)」等8つの議案について全会一致で可決された。また役員補欠選挙に伴い、製粉部会選出の女性中央執行委員として当労組の岡本中央執行委員が選任された。当労組からは、山下委員長と松本書記長が代議員として出席した。

(2) 製粉部会 第21回全国会議

日時:9月5日(月) 方法: 集合・WEB 会議併用(ZOOM)

製粉部会の2022年度の運動方針や活動予算などについて審議を行った。また部会役員およびフード連合委員を選出した。当労組から山下委員長が製粉部会事務局長に、松本書記長が製粉部会常任委員に選出されている。当労組から山下委員長と松本書記長が出席した。

(3) 水産冷食部会 第21回全国会議

日時:9月5日(月) 方法: 集合・WEB 会議併用(ZOOM)

今期の部会活動計画や活動予算などについて審議を行った。また部会役員およびフード連合委員を選出した。当労組からは島津書記次長が会議に出席した。

[今後のスケジュール]

9/26-10/7	第1回支部訪問
10/11	第1回労使協議(在宅勤務規程の見直し)
10/11-13	第3回中央執行委員会
10/14	支部長・書記長会議
11/7	グループ労使協議会
11/8-10	第4回中央執行委員会
11/14	労使協議会(グループ本社)
11/15	労使協議会(製粉)
11/17	労使協議会(エンジ)
11/18	労使協議会(ウエルナ)

11/21 労使協議会(ファルマ)
11/21-12/8 第2回支部訪問
12/9 支部リーダー研修
12/14-15 第5回中央執行委員会
12/16 支部代表者会議

※ 今後の新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、やむを得ず開催を延期・中止せざるを得ない場合があることを、予めご承知置きいただきたい。

以上